



## 価格だけでなく、状況や目的に合った ライフジャケットを選ぼう



### 1 自分の体格に合うもの

大きすぎるライフジャケットは水辺で機能しません。自分の体格にぴったりで着心地がよく、ベルトなどでしめつけられるものを選びましょう。

### 2 目的・用途の違い

プレジャーボートや水上オートバイ、ヨット、カヤック、SUP、シュノーケリング、遊泳、釣り、ウェイクボードなどライフジャケットにはそれぞれの活動に適した特徴や違いがあります。

#### <使用環境による違い>

沖合・沿岸・河川（流水域）、平水、波がある場所など。

#### <ライフジャケットの基準と認証>

##### ・型式承認（桜マーク）

小型船舶（プレジャーボート、水上オートバイ等）に乗船する際には、国土交通省の型式承認を受けたライフジャケットの着用が義務付けられています。ライフジャケットの浮力や強度など、国土交通省が定める基準の適合品に対して、国土交通省によって承認されます。

##### ・性能鑑定（CSマーク）

釣りやレジャーでの活動に適していて、ライフジャケットの浮力、強度など、小型船舶検査機構（JCI）が定める基準も適合品に対して、JCIによって認定されます。

##### ・川育認定（RACマーク）

河川（流水域）など自然環境下における体験活動に適していて、ライフジャケットの浮力や強度、フィッティングなど、川に学ぶ体験活動協議会（RAC）が定める基準の適合品に対して、RACによって認定されます。

この他、海外の製品でこれらとは異なる規格、認証のものや、認証を受けていない製品も流通しているので、使用・購入の際には注意が必要です。



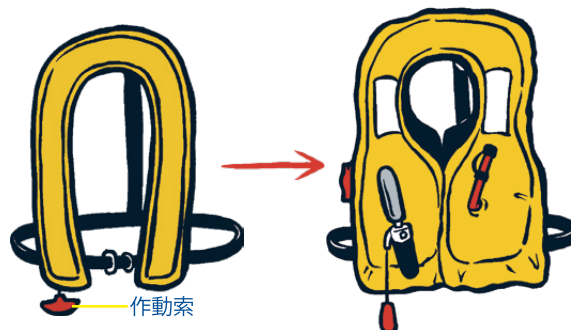


## ライフジャケットの浮力構造



固型式

浮力材に発泡プラスチックなどの固型物を使用しているタイプです。落水時は何をしなくても体が浮くため、パニックになりにくいです。浮力材に厚みがあるため着るとゴワゴワして少し動きが妨げられる感じがします。浮力体が断熱もかねるため、冬は暖かいです。夏は少し暑いです。価格は安いものもあり、はじめて選ぶライフジャケットにおすすめです。



膨脹式

ポンベからガスを出し、気室を膨らませて浮力を得るタイプです。浮力材の厚みがなく、体の負担が少ないです。1. 自分で作動索を引くと膨脹する手動式と、2. 手動式に落水時に自動で膨脹する機能がついた自動膨脹式の2タイプあります。メンテナンスが必要です。一度、膨脹させるとポンベなどの交換が必要のため、ランニングコストがかかります。



気体封入式

特殊樹脂フィルムのチューブ状気室にあらかじめ気体が少量入っているタイプで、海上で作業する人のためのライフジャケットです。固型式のようにかさばりません。膨脹式のように消耗品もありませんが、現状製造から3年間の有効期限の設定があります。



ハイブリット式

固型式の要素と膨脹式の要素の両方を持つタイプで、海上で作業する人のためのライフジャケットです。固型の浮力材だけでも最低限の浮力を持っていますが、手動によって膨脹させることで十分な浮力を持ちます。

	固型式	膨脹式	気体封入式	ハイブリット式
長所	安価で手に入る。 安心感が高い。	着心地・作業性が高い。 夏は涼しい。	着心地・作業性が高い。	固型式よりも 作業性が高い。
短所	着心地・作業性に劣る。 夏は少し暑い。	よりメンテナンスが必要。 消耗品のコストがかかる。	現在「製造から3年間」 の有効期限がある。 ※1	膨脹式よりも 着心地・作業性に劣る。
およその 価格帯	3,000円～ 30,000円	10,000円～ 30,000円 ポンベセット 2,000円～	10,000円～ 30,000円	15,000円～ 20,000円 ポンベ 1,000円～

※1 有効期限とは、小型船舶の船舶検査の際に合格するか否かであり、3年を経過したものでも十分な性能が保持されている場合には、使用することも可能です。適宜性能を確認し、有効期限を再度判断することになっています。



## ライフジャケットの形状

固型式 気体封入式 ハイブリット式

### チョッキ式

もっとも有名なライフジャケットの形状で、チョッキのように着るタイプです。浮くという安心感が高く、泳ぎが得意でない人におすすめです。ポケットがついているものもあり、釣りなどにも便利です。



固型式 膨脹式

### 首かけ式

マフラーのように首にかけ、前面に垂れ下がる浮力材または気室を腰部のベルトとバックルで固定するタイプです。膨脹式は折りたたまれた気室がガスの圧力で展開し、体の前面と後頭部が膨らみます。ベルト式、ポーチ式に比べて安価です。



膨脹式

### ベルト式

ベルトを腰部に巻き付けるようにしてバックルで体に固定するタイプです。作業性が高く、上半身に着るものに制限を与えません。膨らむ気室によって2つのタイプに分けられます。1. 落水すると気室が浮き輪のような形で膨らむ「変形浮き輪型気室」。浮き輪の中心に自分の体を収めるようにして体を安定させます。2. 円柱型の気室の両側にバックルがあり落水後は気室を両脇を抱え込む「円柱型気室」。両先端を留めることで浮き輪に似た形状を作ります。着る際には気室の収納部が背面部にあるようにしてください。



膨脹式

### ポーチ式

ウエストポーチを腰部に巻きつけてバックルで体を固定するタイプです。使用時はポーチから飛び出る膨らんだ気室を首に被り、脱げないようにバックルを留めます。作業性は高いですが、気を失った状態では動作が難しいです。着る際には、気室を収納したポーチが前面腹部にあるようにしてください。



固型式 膨脹式

### カッパ式

防水性のあるカッパの内側に、浮力材またはガスにより膨らむ気室を装着したタイプです。防寒性もち、冬場に適しています。最近ではダウンジャケットタイプもあります。





## 子どもにおすすめのライフジャケット

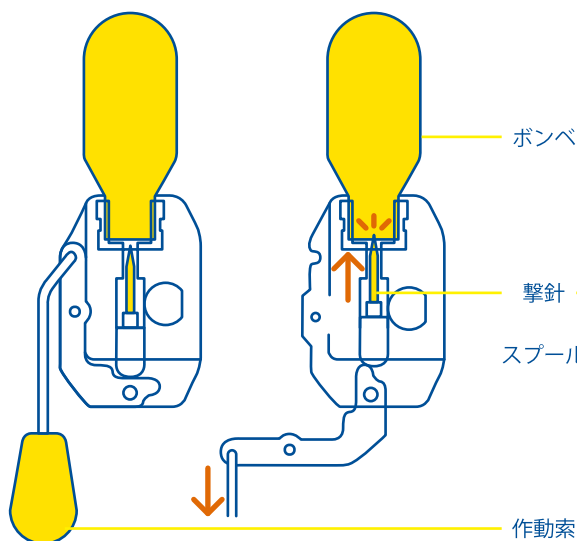
- 1 固型式ライフジャケット  
泳ぎが得意でなくても浮く安心感が高いです。
- 2 目立つ色（黄色・オレンジなど）  
水辺のどこにいるか発見しやすいです。
- 3 股下ベルトがついているもの  
落水した衝撃で脱げる心配がありません。
- 4 ホイッスルがついているもの  
暗いところでも、どこにいるかわかります。
- 5 えり首に持ち手がついているもの  
持ち手をつかんで、引っ張り上げやすいです。



## 膨脹式ライフジャケット 手動膨脹式と自動膨脹式の仕組みと違い

### 手動膨脹式

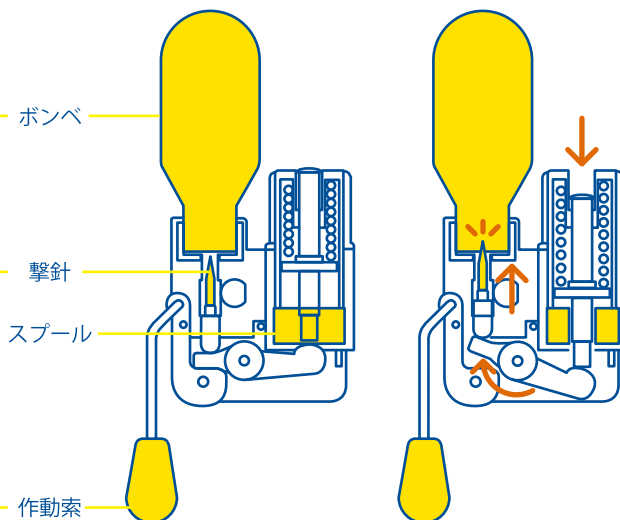
作動索を引くと、撃針がポンペを開き膨脹します。



自動膨脹式に比べ安価で、勝手に膨脹する心配はありませんが、落水時に作動索を引かなければならないため意識を失った状態では使用できません。泳ぎが得意でない人や、泳げない人は使用しないでください。

### 自動膨脹式

スプール内の錠剤または、和紙が水で溶けるとスプリングが作動索を動かし撃針がポンペを開き膨脹します。



自動膨脹機能はあくまで補助機能です。動作に数秒間かかるため落水した場合、作動索を引いてください。雨や水しぶきによって勝手に膨脹することはほとんどありません。多湿な環境に保管すると膨脹することがあります。



## 参考：ライフジャケットのTYPE

国土交通省型式承認のライフジャケット（小型船舶用救命胴衣）には、法定備品として搭載できる航行水域を定めた「TYPE」があります。小型船舶の搭載備品としてライフジャケットをご使用になる場合には、航行区域と救命胴衣の「TYPE」をご確認ください。

### TYPE A

全ての小型船舶に法定備品として搭載することができるタイプで、次のような特徴があります。

- ・黄色やオレンジ色などの発見されやすい色です。
- ・サーチライトを反射する反射材がついています。
- ・存在をアピールするためのホイッスルがついています。
- ・浮力が7.5 kg以上あります。（小児用は「※1」）

### TYPE D

平水区域、2時間限定沿海区域及び沿岸区域を航行区域とする小型船舶（旅客船を除く。）及び水上オートバイ等に法定備品として搭載することができるタイプで、次のような特徴があります。

- ・黄色やオレンジ色に限らず自由な色です。
- ・サーチライトを反射する反射材がついています。
- ・存在をアピールするためのホイッスルがついています。
- ・浮力が7.5 kg以上あります。（小児用は「※1」）

### TYPE F

平水区域、2時間限定沿海区域及び沿岸区域を航行区域とし、かつ、一定の諸条件（※2）に適する小型船舶（旅客船を除く）及び水上オートバイ等に法定備品として搭載することができるタイプで、次のような特徴があります。

- ・黄色やオレンジ色に限らず自由な色です。
- ・浮力が7.5 kg以上あります。（小児用は「※1」）

### TYPE G

小型船舶用浮力補助具のことです。これは、平水区域を航行区域とし、かつ、一定の諸条件（※2）に適する小型船舶（旅客船を除く。）及び水上オートバイ等に法定備品として搭載することができるタイプで、次のような特徴があります。

- ・黄色やオレンジ色に限らず自由な色です。
- ・浮力が5.85 kg以上あります。（小児用はありません。）

※1：小児用ライフジャケットでは、小児の体重毎に浮力を分けています。

体重40 kg以上 浮力7.5 kg以上

体重15 kg以上40 kg未満 浮力5 kg以上

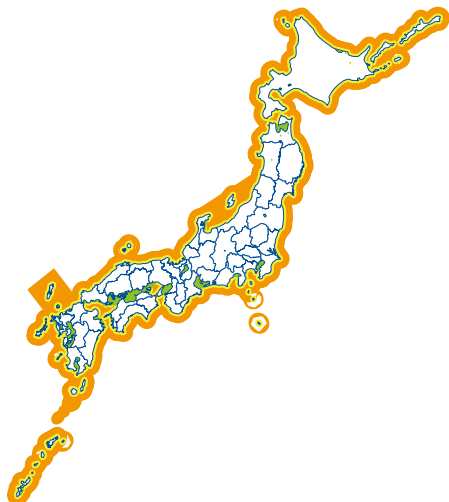
体重15 kg未満 浮力4 kg以上

※2：「一定の諸条件」とは、次の条件のことです。

・不沈性能（船内に十分な浮力体があり沈まない構造）があること。

・緊急エンジン停止スイッチ機能（操船者が落水時にエンジンが自動停止するもの）があること。

・音響信号器具（笛、ホーン等）を装備していること。



### 小型船舶の航行水域と搭載できる「TYPE」について



※イラストはイメージです。詳しい航行区域は、船舶安全法施行規則を参照してください。